

## 「2015 人生が見えた人達から、年頭の一言」

### 大賞

No57 仕事社会と異なった地域交流認識が必要。体験者に仲間入りしよう。

注) 訴えたい気持ち：特に「仕事人間」だった男性は近隣との人脈がなく、閉じこもる傾向があります。地域社会との交流は、「その気持ちになること」および「キッカケ」が大事です。「区報」とか「ネット」等、積極的に情報をキャッチし、気の合う仲間を見つけませんか？

### <各部門賞>

#### 「生き様賞」(2作)

No25 ノーベル賞 三者三様 記者会見 受け取るあなたは どのタイプ？ (5票、皆さんのお蔭と周囲を気遣う赤崎さん、私が作ったLEDでと自分を出す中村さん、何で私が選ばれたのかと引いて魅せる天野さん。コメントからお三方の個性の違いが出ていて面白かったのです。)

No86 死ぬ事以外は、かすり傷。(個人賞：伴場賞も兼ねる。ここまで生きてきた大概の事は「大した事はない」と思う様にしている。)

#### 「分かち合いま賞」

No78 「勝手に自分が頑張った事」報われないと虚しい。でも一緒に分かち合える人が居れば報われる。(努力を自慢したい訳じゃないが解って貰える仲間が居ればそれだけで十分。)

#### 「生涯現役賞」

No70 大好きでやりたいことで喜ばれ「面白スクール教室」は今年も継続休みなし。(先ず、第一校歌「青い山脈」を歌い国語・理科・社会・音楽・家庭科、御題を与え潜在記憶を呼び起し大声出させてストレス発散。「御年寄に脳トレ教室」ボランティア。世田谷で生涯現役！毎日楽しく充実感、こんな嬉しいことはない。最後は第二校歌「高校三年生」で、また来週！)

#### 「人生の提言賞」(4票、個人賞：岡崎賞も兼ねる。)

No81 人生を重ねても、人生はなかなか見えてこないけど人生の終点がそろそろ見え始めてきた私の目標。「人の悪口は言わない」(でも、実際は言っています。それでも目標に掲げ続けたいと思っています。)

「ユーモア賞」(2作)

No22 生涯現役と嫁に迫って断られ、その気になった息子にごめん(笑)(1票)

No26 おもてなし、裏もなし。(2票、気持が最大のおもてなし)

「佳作」(3票以上)

No9 若者よ。悟って年寄の陰口叩いても。1票を入れない奴は白紙委任状。大人の好きにさせて貰うよ。(個人賞：臼井賞も兼ねる。選挙程、現状を打破する能力に気付かない若者。)

No30 台風の日、雨降りしきる中、出掛けた陶芸休講の張り紙あり。定年者向けの教室はそんな物かと納得する。(リタイアしたら毎日、暇なんだから台風だろうと陶芸は出来るはず。)

No40 ノーベル賞の受賞者は、好きな事をやれと言いました。でも、生きていく為には、自分に投資して、腕に職をつける事が先です。まずは、自分を磨いて、前進を……。 (理想は天才の言う通りやりたいが現実は厳しい。)

No43 男女格差、ビジネス社会で世界最低。少しは地域社会を見習えよ。(ビジネスや政治の分野で世界104位との報告、地域ボランティアは圧倒的に女子が多数って、何か皮肉。)

No46 定年後、夫婦お互いに誰よりも「便利な存在」たるべし。(個人賞：平島賞も兼ねる。長年連れ添ってきた夫婦は、他の誰よりも便利な存在に違いないと改めて思い直す時期でもあります。)

No48 若者よ、仕事ばかりで趣味に時間を割かなかったことに何れ後悔するぞ。(最近、仕事=人生という人は少なくなったのかもしれないが、皆がそうかというところでもないだろう。労働時間は皆、結構長いはずだ。団塊世代の我が身も、もっと秀でる趣味の一つや二つ持っていれば良かったと思う。)

No49 旅行は、できるうちにしておくほうが良い。後で、行きたい場所に旅行をしなかったことに後悔するぞ。(旅行なんかいつでもできると思われるかもしれない。しかし、病んでからの旅行はそんなに簡単ではないのである。)

No50 若い時に、絶対に言ってはいけない次の「11のNGワード」に気をつける。「でも…」「あー、ひま」「あとでやります、明日やります」「運がない！ついてない…」「どうせ無理だし」「もう疲れた」「なんか…」「ごめん、お金がないので」「先約があるので」「昨日寝てないんだ」「最近、出会いがない」(言葉は、無意識のうちに、あなたの人生を規定している。たかが言葉、されど言葉。言葉に気をつけて、より良い人生を送ろう。)

No51 終末医療の苦痛に、病室で「救急車呼んでくれ」の母の懇願に慙愧の念。(個人賞：小畑賞も兼ねる。旅立ちが見えて母に苦しくないようにしてくれと医師・看護師に頼んでも、マニュアル通り進む医療に凄い違和感。何故？訴訟？経営上？患者のほうは

向いてない現実。)

No52 偏差値が高く優秀な遺伝子が弱肉強食で生き残れるとは限らない。「適者生存」たれ！(物差しはいくつもある。人間として生き物としてトータルで生きよ。)

No54 社会人になる前に大学では「教えてくれない。」5つのライフレッスンを学んでほしい。「大学は個人の金銭管理を教えてくれない。」「恋愛哲学は教えてくれても、実践方法は教えてくれない。」「社会にでたら、ミスの軌道修正が大事！」「社会に出たら、継続こそ力なり！」「社会人は体調管理が、すべての始まり。」(社会に出たら、自分に起きる全てのことが次への道しるべになる。本当のライフレッスンは、あなたが社会を経験するまさに今この時に詰まっているということだ。)

No56 やめた。と言わなければ失敗でなく成功だ。(継続すれば、良い事もあり、最後に成功となる。どうしたら、継続出来るか？考える。)

No84 健康を第一にし、人様に迷惑掛けずにこれからも生きる。(個人賞：宮原賞も兼ねる。未だ人生はまだ見えないが、最近感じた事です。)

No90 檜山節考とは言わないが、お金を掛けず安らかに最後を遂げたい。(保険とは言え、大金を注ぎこみ、僅かばかり長生きする為、喉にパイプを突っ込み患者に声も出させず、激痛治療は誰も望んでいない。建前で語らず、訴訟も起こさない方法を作って欲しい。)

No93 「雨、降らば降れ！風、吹かば吹け！」(要するに肩の力を抜いて物事に執着せず、こだわりなく生きる事が良いと思う。)

「個人賞」(各会員が一番良いと思うった作品、票数無関係で決定。)

No35 バスツアー、車内のあちこち「孫の話」「体の不調」大声飛び交い、辟易する。(1票、菅野賞)

No53 生き易い方法はシンプル。「相手の立場に立ち、好かれて信頼される事。」(2票、真貝賞)

No58 崩壊日本を復興させた力で、発電・蓄電・農産等を新規目標で構築。

(2票 溝口賞 訴えたい気持ち：少子高齢化の現在、負担をどうするか……、という問題よりも、膨大な時間が必要ですが、日本を築き上げた「ものづくり」に意識を注ぐべきだと思います。)

原子力発電以外の「発電・蓄電・効率的農業・水・汚物処理」等、世界に提供出来る「ものづくり」で、国を再構築したいと思います。)

No72 「親託投票権」が日本を変える。0歳児にも投票権を与え親に託す、子供の将来を思う親心なら無駄にはしない。(1票 増岡賞 「少子化対策」と「敬老政治打破」にはうってつけ。日本の将来を考えたら目先が辛くとも次世代に投資するため若者に権利を譲ろう。巡り巡って将来きっと高齢者にも恩恵。「親託投票権」という新語を提案し世代間を越え議論の発端になれば有難い。)